

主要農作物等奨励品種
特 性 表

令和3年度

茨城県

目 次

水稻奨励品種特性表	2
陸稻奨励品種特性表	4
麦類奨励品種特性表	5
大豆奨励品種特性表	7
そば奨励品種特性表	9
ベニバナインゲン奨励品種特性表	10
(参考) 落花生品種特性表	11
(参考) 甘藷品種特性表	12
種子更新について	13
主要農作物(稲・麦・大豆)の作付生産状況	14
令和3年産 産地品種銘柄一覧表	15

利用にあたって

- 1 本県においては、普及すべき主要農作物等の優良な品種について、次の内容で奨励品種、準奨励品種、認定品種に区分しています。

奨励品種 本書では「奨」と表記

実需者等から需要が見込まれる品種であって、かつ、収量、病害虫抵抗性、品質その他の栽培上の重要な特性及び生産物の利用上の重要な特性を総合的に勘案し、既存の奨励品種と比較して明らかに優れていると認められる品種で県下全域を対象に普及奨励しようとするもの。

準奨励品種 本書では「準」と表記

実需者等から需要が見込まれる品種であって、かつ、収量、病害虫抵抗性、品質その他の栽培上の重要な特性又は生産物の利用上の重要な特性のいずれかについて、既存の奨励品種と比較して明らかに優れていると認められる品種で、県が特定の地域に限って普及奨励しようとするもの。

特性及び収量については奨励品種に準ずるが経済情勢等の変化によってその価値が動きやすいもの。

認定品種 本書では「認」と表記

実需者等から需要が見込まれる品種であって、かつ、特定用途又は特定地域での栽培要件にあったもの。

- 2 数値については、茨城県農業総合センター農業研究所で実施している奨励品種決定調査の結果(5カ年の平均値)です。よって、栽培上の特性、収量等については、一般農家の平均値でないこと及び土壌条件、気象条件等による変動があること等について注意してください。
- 3 落花生及び甘藷は平成30年をもって奨励品種を指定する農作物から除外されましたが、引き続き、参考資料として本表に掲載しております。
- 4 品種特性を生かし、品質向上と安定生産を図るため、本書をご活用ください。

水稲奨励品種特性表

〈作物研究室(水戸市)〉

選種別	区分	品種名	来歴または両親名	奨励品種採用年度	早晚性	草型	移植期(月日)	出穂期(月日)	成熟期(月日)	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/㎡)	玄米千粒重(g)	玄米重(kg/10a)
穂認	一	一番星	ふさおとめ×愛知101号	平 25	早生の早	偏穂数	5.08	7.19	8.23	74	18.9	412	23.9	508
穂準	あ	あきたこまち	コシヒカリ×奥羽292号	平 5	早生の早	偏穂数		7.20	8.25	79	18.0	398	22.6	514
穂奨	ふ	ふくまる SL	ふくまる×一番星	令 2	早生の晩	中間		7.21	8.26	74	19.2	381	25.7	550
穂奨	チ	チヨニシキ	愛知26号(初星)×トヨニシキ	昭 60	早生の晩	中間		7.24	8.29	76	19.9	389	23.6	550
穂認	ミ	ミルキークイーン	コシヒカリのMNU処理突然変異	平 12	中生	中間		7.29	9.05	88	20.4	393	21.5	582
穂奨	コ	コシヒカリ	農林22号×農林1号	昭 34	中生	中間		7.29	9.04	85	19.8	379	22.3	580
穂奨	ゆ	ゆめひたち	チヨニシキ×北陸122号(キヌヒカリ)	平 9	中生	中間		7.30	9.06	73	19.7	378	22.3	578
穂準	に	にじのきらめき	なつほのか×北陸223号	令 3	中生	中間		7.31	9.09	64	20.4	396	24.9	597
穂奨	ひ	ひたち錦	岐系89号×月の光	平 13	晩生の早	偏穂重		8.03	9.13	77	20.8	327	25.3	535
穂認	あ	あさひの夢	愛知70号(あいちのかおり)×F ₁ (愛知56号(月の光)×愛知65)	令 元	晩生	偏穂重		8.07	9.15	69	21.0	333	23.0	571
籾奨	マ	マンガツモチ	F ₂ 249×農林籾45号	昭 38	中生の晩	穂重		8.01	9.09	81	22.3	320	22.5	554

〈作物研究室(水戸市)〉

選種別	区分	品種名	芒		成熟期のふ先色	腹白の多少	心白の多少	玄米品質	食味	耐倒伏性	耐冷性	耐病性				栽培適地	特記事項
			多少	長短								葉いもち	穂いもち	紋枯病	縞葉枯病		
穂認	一	一番星	稀	短	黄白	無～微	微	上の中	良	強	強	中	中	中	強	県南・鹿行早場米地域	大粒。高温耐性あり。早期収穫に適する。イネ縞葉枯病に抵抗性を有する。
穂準	あ	あきたこまち	稀	短	黄白	微	微	上の中	良	やや強	やや強	中	中	中	弱	県南早場米地域	早期収穫に適する。
穂奨	ふ	ふくまる SL	稀	短	黄白	微	微	上の中	良～極良	やや強	極強	中	中	中	強	県内全域	イネ縞葉枯病抵抗性を有する「ふくまる」の同質遺伝子系統。大粒。高温耐性あり。
穂奨	チ	チヨニシキ	少	短	黄白	微～少	微	上の中	やや良	強	やや強	強	強	中	弱	県内全域	強稈・多収であるが、心白、腹白粒がやややすい。
穂認	ミ	ミルキークイーン	稀	短	黄白	微	微	上の中	極良	弱	極強	弱	中	中	弱	県内全域	低アミノ酸のため、炊飯米は粘りが強い。
穂奨	コ	コシヒカリ	稀	短	黄白	微	微	上の中	極良	弱	極強	弱	中	中	弱	県内全域	倒伏しやすい、いもち病に弱い。
穂奨	ゆ	ゆめひたち	稀	短	黄白	微	微	上の中	極良	強	中	やや弱	中	中	—	県内全域	強稈。いもち病にやや弱い。
穂準	に	にじのきらめき	稀	短	黄白	微	微	上の中	極良	強	弱	中	やや強	中	強	県内全域	イネ縞葉枯病抵抗性を有する、大粒、高温耐性あり。障害型耐冷性は弱い。イネ白葉枯病に弱いため、常発地では防除を行う。
穂奨	ひ	ひたち錦	稀	短	黄白	少	多	上の中	—	強	—	やや強	強	中	強	県内全域(契約栽培)	酒造好適米。イネ縞葉枯病に抵抗性を有する。
穂認	あ	あさひの夢	極少	短	黄白	微	無～微	上の中	やや良～良	強	弱	中	強	中	強	県内全域	耐倒伏性に優れる。イネ縞葉枯病抵抗性を有する。イネ白葉枯病に弱いため、常発地では防除を行う。
籾奨	マ	マンガツモチ	少	短	黄褐	—	—	上の中	良	やや強	—	やや強	強	中	弱	県内全域	やや分けつにくい。

(注)1 数値は下記条件における試験結果による。

- (1)試験年次:平成28年～令和2年
- (2)試験圃場:茨城県農業総合センター農業研究所(水戸市上国井町 表層腐植質多湿黒ボク土)
- (3)施肥量(10a当たり) 基肥:窒素6kg、リン酸6kg、カリ6kg、 追肥:窒素3kg、カリ3kg

(4)栽植密度:30cm×18cm(18.5株/㎡)

(5)移植法:稚苗機械植え

- 2 いずれの品種も脱粒性は難、玄米の形状は中。
- 3 出穂期:全茎の40～50%が出穂した日、成熟期:穂首近くに緑色を残した粒の割合が穂全体の10%になった日

水稻奨励品種特性表

〈水田利用研究室(龍ヶ崎市)〉

種別	区分	品種名	来歴または両親名	奨励品種採用年度	早晩性	草型	移植期(月日)	出穂期(月日)	成熟期(月日)	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/㎡)	玄米千粒重(g)	玄米重(kg/10a)
種別	認	一番星	ふさおとめ×愛知101号	平 25	早生の早	偏穂数	4.27	7.12	8.16	76	19.0	507	22.8	613
種別	準	あきたこまち	コシヒカリ×奥羽292号	平 5	早生の早	偏穂数		7.12	8.18	80	17.7	508	21.0	617
種別	奨	ふくまる SL	ふくまる×一番星	令 2	早生の晩	中間	4.26	7.14	8.20	77	18.9	447	24.3	651
種別	奨	チヨニシキ	愛知26号(初星)×トヨニシキ	昭 60	早生の晩	中間	4.27	7.17	8.23	78	19.2	476	22.5	655
種別	奨	コシヒカリ	農林22号×農林1号	昭 34	中生	中間	4.26	7.23	8.31	91	19.3	460	20.8	578
種別	準	にじのきらめき	なつほのか×北陸223号	令 3	中生	中間		7.23	9.3	68	20.1	441	23.2	644
種別	奨	ゆめひたち	チヨニシキ×北陸122号(キヌヒカリ)	平 9	中生	中間		7.25	9.2	77	19.4	420	21.2	601
種別	認	あさひの夢	愛知70号(あいちのかおり)×F ₁ (愛知56号(月の光)×愛知65号)	令 元	晩生	偏穂重		8.1	9.12	72	21.4	391	22.1	588
種別	奨	夢あおば	上321×奥羽331号(ふくひびき)	令 2	早生	穂重型	5.22	8.3	9.22	91	21.2	346	24.7	760
種別	奨	月の光	あ系103B(黄金晴)×愛知37号(青い空)×北陸103号	令 2	晩生	偏穂重型	5.23	8.16	10.2	87	21.5	388	22.4	661

〈水田利用研究室(龍ヶ崎市)〉

種別	区分	品種名	芒		成熟期のふ先色	腹白の多少	心白の多少	玄米品質	食味	耐倒伏性	耐冷性	耐病性				栽培適地	特記事項
			多少	長短								葉いもち	穂いもち	紋枯病	縞葉枯病		
種別	認	一番星	稀	短	黄白	無~微	微	上の中	良	強	強	中	中	中	強	県南・鹿行早場米地域	大粒。高温耐性あり。早期収穫に適する。イネ縞葉枯病に抵抗性を有する。
種別	準	あきたこまち	稀	短	黄白	微	微	上の中	良	やや強	やや強	中	中	中	弱	県南早場米地域	早期収穫に適する。
種別	奨	ふくまる SL	稀	短	黄白	微	微	上の中	良~極良	やや強	極強	中	中	中	強	県内全域	イネ縞葉枯病抵抗性を有する「ふくまる」の同質遺伝子系統。大粒。高温耐性あり。
種別	奨	チヨニシキ	少	短	黄白	微~少	微	上の中	やや良	強	やや強	強	強	中	弱	県内全域	強稈・多収であるが、心白、腹白粒がやややすい。
種別	奨	コシヒカリ	稀	短	黄白	微	微	上の中	極良	弱	極強	弱	中	中	弱	県内全域	倒伏しやすい。いもち病に弱い。
種別	準	にじのきらめき	稀	短	黄白	微	微	上の中	極良	強	弱	中	やや強	中	強	県内全域	イネ縞葉枯病抵抗性を有する、大粒、高温耐性あり。障害型耐冷性は弱い。イネ白葉枯病に弱いため、常発地では防除を行う。
種別	奨	ゆめひたち	稀	短	黄白	微	微	上の中	極良	強	中	やや弱	中	中	—	県内全域	強稈。いもち病にやや弱い。
種別	認	あさひの夢	極少	短	黄白	微	無~微	上の中	やや良~良	強	弱	中	強	中	強	県内全域	耐倒伏性に優れる。イネ縞葉枯病抵抗性を有する。イネ白葉枯病に弱いため、常発地では防除を行う。
種別	奨	夢あおば	少	短	黄白・黄	多	多	主食用米より悪く識別性有	—	極強	やや弱	不明	不明	不明	強	県内全域	飼料用。イネ縞葉枯病抵抗性を有する。耐冷性がやや弱いいため、極端な早植えは避ける。
種別	奨	月の光	稀	短	黄白・黄	少	少	主食用米と同程度	—	強	不明	強	強	不明	強	県内全域	飼料用。イネ縞葉枯病抵抗性を有する。

(注)1 数値は下記条件における試験結果による。

(1)試験年次:平成28年~令和2年、「一番星」、「あきたこまち」、「チヨニシキ」および「夢あおば」は平成27年~令和元年、「月の光」は平成28、29、令和元年

(2)試験圃場:茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室(龍ヶ崎市大徳町 中粗粒灰色低地土)

(3)施肥量(10a当たり) 基肥:窒素6kg、リン酸6kg、カリ6kg、追肥:窒素3kg、カリ3kg
「夢あおば」および「月の光」 基肥:窒素9kg、リン酸9kg、カリ9kg、追肥:窒素5kg、カリ5kg
稲わらすき込み

(4)栽植密度:30cm×18cm(18.5株/㎡)、「夢あおば」および「月の光」は30cm×22cm(15.2株/㎡)

(5)移植法:稚苗手植え、「夢あおば」および「月の光」は機械移植

2 いずれの品種も脱粒性は難、玄米の形状は中。ただし、「夢あおば」の形状は大。

3 出穂期:全茎の40~50%が出穂した日成熟期:穂首近くに緑色を残した粒の割合が穂全体の10%になった日

陸稲奨励品種特性表

種別	区分	品種名	来歴または両親名	奨励品種採用年度	早晚性	草型	播種期 (月日)	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m ²)	玄米千粒重 (g)	玄米重 (kg/10a)
糯	奨	ひたちはたもち	関東糯166号×ゆめのはたもち	平 16	早 生	中 間	4.21	7.30	9.3	73	19.0	297	21.9	388

種別	区分	品種名	芒		成熟期の ふ先色	籾のこぼ れ易さ	玄米品質	食味	耐倒伏性	栽培適地	特記事項
			多 少	長 短							
糯	奨	ひたちはたもち	少	短	褐	難	中の中	上の中	強	県内全域	早生のため秋野菜の前作にも適する。

(注)1 数値は下記条件における試験結果による。

(1) 試験年次:平成16年～20年

(2) 試験圃場:茨城県農業総合センター農業研究所(水戸市上国井町)、畑(表層腐植質黒ボク土)

(3) 施肥量(10a当たり) 基肥量:窒素5kg、リン酸7.5kg、カリ6.7kg、追肥:窒素2kg

(4) 播種量(10a当たり)4kg、畦幅60cm

2 出穂期:全茎の40～50%が出穂した日

成熟期:穂首近くに緑色を残した粒の割合が10%になった日

麦類奨励品種特性表

〈作物研究室(水戸市)〉

種類	区分	品種名	来歴または両親名	奨励品種採用年度	播性程度	播種期(月日)	出穂期(月日)	成熟期(月日)	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/m ²)	容積重(g)	千粒重(g)	子実重(kg/10a)
小麦	奨	さとのそら	F ₁ (しゅんよう×きぬいろは) ×ニシカゼコムギ	平 21	Ⅳ	11.5	4.18	6.6	87	8.6	683	826	39.2	606
	認	きぬの波	関東107号 ×関東100号(バンドウワセ)	平 15	Ⅱ		4.17	6.6	81	8.9	592	831	40.0	660
	認	ゆめかおり	西海180号(ニシカオリ) ×KS831957	平 22	Ⅱ		4.18	6.6	99	7.1	657	832	44.4	490
六条大麦	奨	カシマムギ	北関東皮3号 ×ムサシノムギ	昭 46	Ⅱ		4.12	5.25	88	4.3	639	737	30.9	653
	準	カシマゴール	関東皮78号(さやかぜ) ×関東裸77号	平 22	Ⅰ		4.10	5.24	88	4.2	743	754	29.6	669
二条大麦	奨	ミカモゴールデン	南系B4718 ×新田二条1号(はるな二条)	平 7	Ⅰ		4.10	5.23	96	5.7	801	737	40.8	497
裸麦	認	キラリモチ	F ₁ (四国裸103号×とちのいぶき) ×四国裸97号	平 29	Ⅰ	4.11	5.26	83	7.0	1068	822	34.7	453	

種類	区分	品種名	外観品質	株の開閉	耐倒伏性	耐病性			栽培適地	特記事項
						さび	うどんこ	縞萎縮		
小麦	奨	さとのそら	上・下	中	強	強	やや弱	強	県内全域の輪換畑	コムギ縞萎縮病に抵抗性を有するが、ムギ類萎縮病には罹病性。アミロース含量が通常タイプのため汎用性に優れる。
	認	きぬの波	上・中	やや閉	強	中	やや弱	強	県南・県西地域の輪換畑	コムギ縞萎縮病に抵抗性を有する。アミロース含量がやや低い。製麺適性が優れる。
	認	ゆめかおり	中・上	やや閉	やや強	強	やや強	強	県内全域の窒素肥沃度の高い畑地	コムギ縞萎縮病に抵抗性を有する。製パン適性が優れる。
六条大麦	奨	カシマムギ	上・下	中	中	強	強	弱	県内全域の普通畑	ムギ類萎縮病、オオムギ縞萎縮病に罹病性。成熟期の穂首折損に弱い。麦茶品質が優れる。
	準	カシマゴール	上・下	中	やや強	—	強	強	県内全域の普通畑 オオムギ縞萎縮病発生地	オオムギ縞萎縮病(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ型)に抵抗性を有するが、ムギ類萎縮病には罹病性。麦茶品質が優れる。
二条大麦	奨	ミカモゴールデン	上・下	やや閉	中	中	弱	やや強	県内全域の普通畑、輪換畑	オオムギ縞萎縮病のⅠ・Ⅱ型に抵抗性を有するが、Ⅲ型には罹病性。穂発芽性はやや易。
裸麦	認	キラリモチ	中・上	やや閉	強	—	極強	極強	県内全域の普通畑、輪換畑 (窒素肥沃度が高いほ場は除く)	オオムギ縞萎縮病(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ型)に抵抗性を有する。穂発芽性は易。モチ性で食味に優れる。β-グルカン含量が高く、機能性に優れる。プロアントシアニジンフリー遺伝子を持ち、炊飯麦の褐変がほとんどない。開花性。窒素肥沃度が高いほ場や凍霜害の影響で遅れ穂が発生しやすい。

(注)1 数値は下記条件における試験結果による。

- (1) 試験年次:平成27年～令和元年(播種年)
- (2) 試験圃場:茨城県農業総合センター農業研究所(水戸市上国井町)、畑(表層腐植質黒ボク土)および輪換畑(表層腐植質多湿黒ボク土)
- (3) 施肥量(10a当たり) 基肥量:窒素6kg、リン酸6kg、カリ6kg、追肥量:莖立期に窒素4kg(カシマムギ、カシマゴールのみ)
- (4) 播種量(10a当たり) 8kg、ただし二条大麦は10kg
- (5) 播種様式:条間30cm・ドリル栽培

- 2 播性程度は次による。Ⅰ、Ⅱ春播型、Ⅲ、Ⅳ中間型、Ⅴ～Ⅶ秋播型
- 3 出穂期:全莖の40～50%が出穂した日
成熟期:莖葉並びに穂首部分が黄化し、穂軸や粒は緑が抜け、粒にはツメ跡が僅かにつき、ほぼロウぐらいの固さに達した粒を付ける穂が全穂数の80%以上に達した日

麦類奨励品種特性表

〈水田利用研究室(龍ヶ崎市)〉

種類	区分	品種名	来歴または両親名	奨励品種採用年度	播性程度	播種期(月日)	出穂期(月日)	成熟期(月日)	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/㎡)	容積重(g/ℓ)	千粒重(g)	子実重(kg/10a)
小麦	奨	さとのそら	F ₁ (しゅんよう×きぬいろは) ×ニシカゼコムギ	平 21	Ⅳ	11.11	4.12	5.31	82	8.7	660	817	36.9	569
	認	きぬの波	関東107号 ×関東100号(バンドウワセ)	平 15	Ⅱ		4.11	6.1	82	9.1	549	828	38.0	654
	認	ゆめかおり	西海180号(ニシノカオリ) ×KS831957	平 22	Ⅱ		4.10	5.30	102	7.3	679	853	41.3	479
六条大麦	奨	カシマムギ	北関東皮3号 ×ムサシノムギ	昭 46	Ⅱ	11.12	4.5	5.16	87	4.3	537	711	30.1	641
	準	カシマゴール	関東皮78号(さやかぜ) ×関東裸77号	平 22	Ⅰ		4.3	5.17	87	4.2	676	699	27.9	690
二条大麦	奨	ミカモゴールデン	南系B4718 ×新田二条1号(はるな二条)	平 7	Ⅰ	11.12	4.4	5.16	99	5.5	912	701	38.4	596
裸麦	認	キラリモチ	F ₁ (四国裸103号×とちのいぶき) ×四国裸97号	平 29	Ⅰ	11.13	4.5	5.19	81	6.7	806	848	37.2	511

種類	区分	品種名	外観品質	株の開閉	耐倒伏性	耐病性			栽培適地	特記事項
						さび	うどんこ	縞萎縮		
小麦	奨	さとのそら	上の下	中	強	強	やや弱	強	県内全域の輪換畑	コムギ縞萎縮病に抵抗性を有するが、ムギ類萎縮病には罹病性。通常アミロース含量で汎用性に優れる。
	認	きぬの波	上の中	やや閉	強	中	やや弱	強	県南・県西地域の輪換畑	コムギ縞萎縮病に抵抗性を有する。アミロース含量がやや低く、製麺適性が優れる。
	認	ゆめかおり	中の上	やや閉	やや強	強	やや強	強	県内全域の窒素肥沃度の高い畑地	コムギ縞萎縮病に抵抗性を有する。製パン適性が優れる。
六条大麦	奨	カシマムギ	上の下	中	中	強	強	弱	県内全域の普通畑	ムギ類萎縮病、オオムギ縞萎縮病に罹病性。成熟期の穂首折損に弱い。麦茶品質が優れる。
	準	カシマゴール	上の下	中	やや強	—	強	強	県内全域の普通畑 オオムギ縞萎縮病発生地	オオムギ縞萎縮病(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ型)に抵抗性を有するが、ムギ類萎縮病には罹病性。成熟期の穂首折損に強い。麦茶品質が優れる。
二条大麦	奨	ミカモゴールデン	上の下	やや閉	中	中	弱	やや強	県内全域の普通畑、輪換畑	オオムギ縞萎縮病のⅠ・Ⅱ型に抵抗性を有するが、Ⅲ型には罹病性。穂発芽性ははや易。
裸麦	認	キラリモチ	中の上	やや閉	強	—	極強	極強	県内全域の普通畑、輪換畑 (窒素肥沃度が高い場合は除く)	オオムギ縞萎縮病(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅴ型)に抵抗性を有する。穂発芽性は易。モチ性で食味に優れる。β-グルカン含量が高く、機能性に優れる。プロアントシアニジンフリー遺伝子を持ち、炊飯麦の褐変がほとんどない。開花性。窒素肥沃度が高いほ場や凍霜害の影響で遅れ穂が発生しやすい。

(注)1 数値は下記条件における試験結果による。

- (1)試験年次:平成27年～令和元年(播種年)
- (2)試験圃場:茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室(龍ヶ崎市大徳町、輪換畑(中粗粒灰色低地土))
- (3)施肥量(10a当たり) 基肥:窒素8kg、リン酸12kg、カリ11kg 追肥:茎立期に窒素4kg
ただし、平成24年播種の二条大麦は無追肥。
- (4)播種量(10a当たり):8kg(六条大麦・小麦)、10kg(二条大麦)
- (5)播種様式:条間30cm・ドリル栽培

2 播性程度は次による。Ⅰ、Ⅱ春播型、Ⅲ、Ⅳ中間型、Ⅴ～Ⅶ秋播型

3 出穂期:全茎の40～50%が出穂した日
成熟期:茎葉並びに穂首部分が黄化し、穂軸や粒は緑が抜け、粒にはツメ跡が僅かにつき、ほぼロウぐらいの固さに達した粒を付ける穂が全穂数の80%以上に達した日

大豆奨励品種特性表

〈作物研究室(水戸市)〉

区分	品種名	来歴または両親名	奨励品種採用年度	生態型	播種期 (月日)	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	主茎長 (cm)	分枝数 (本/株)	主茎節数 (節)	結実莢数 (莢/m ²)	百粒重 (g)	子実重 (kg/10a)
奨	里のほほえみ	東北129号×刈交0264MYF6	平 27	Ⅱc	6.19	8.1	10.21	58	5.5	13.4	561	40.1	336
準	ハタユタカ	スズユタカ×エンレイ	平 11	Ⅱc		8.3	10.21	62	6.4	13.7	781	33.8	418
奨	納豆小粒	純系淘汰	昭 51	Ⅲc		8.8	10.28	76	7.6	17.3	1,818	10.8	294

区分	品種名	花の色	莢の毛の有無	莢の毛の色	つるになり易さ	耐倒伏性	子 実					栽培適地	特記事項
							色	へその色	形状	大小	品質		
奨	里のほほえみ	白	有	白～淡褐	難	強	黄白	黄	扁球	極大	中の中	県内全域の普通畑、転換畑	多収・良質、大粒で蛋白質含量が高い。青立ち・倒伏に強い。難裂莢性。ダイズモザイクウイルス抵抗性。
準	ハタユタカ	紫	有	灰色	難	やや強	黄白	黄	楕円	中の大	中の下	県内全域の普通畑、輪換畑(ダイズシスト発生ほ場)	多収・良質で豆腐加工適性に優れる。ダイズシストセンチュウに抵抗性を有する。立枯性病害にやや弱い。
奨	納豆小粒	紫	有	白～淡褐	易	中	黄白	黄	球	極小	中の中	県北の普通畑、輪換畑	良質で極小粒率が高く、納豆加工適性に優れる。早播きでは蔓化し、倒伏しやすい。

- (1) 試験年次:平成28年～令和2年
(2) 試験圃場:茨城県農業総合センター農業研究所(水戸市上国井町) 輪換畑(表層腐植質多湿黒ボク土)
(3) 施肥量(10a当たり) 窒素:3kg、リン酸:10kg、カリ:10kg
(4) 栽植密度:畦幅60cm×株間20cm(8.3本/m²)
(5) 子実重は精子実重を示す

開花までの日数	Ⅱ 短
	Ⅲ 中

結実日数	b 中
	c 長

- 3 開花期:全株数の40～50%が開花始めに達した日
成熟期:全株数の80～90%の莢の大部分が変色し、粒の大部分が品種固有の色を表し、振って音のする日をもって示す。

大豆奨励品種特性表

〈水田利用研究室(龍ヶ崎市)〉

区分	品種名	来歴または両親名	奨励品種採用年度	生態型	播種期 (月.日)	開花期 (月.日)	成熟期 (月.日)	主茎長 (cm)	分枝数 (本/株)	主茎節数 (節)	結実莢数 (莢/m ²)	百粒重 (g)	子実重 (kg/10a)
奨	里のほほえみ	東北129号×刈交0264MYF6	平 27	Ⅱc	6.20	8.02	10.24	58	4.0	14.7	554	35.3	225
準	ハタユタカ	スズユタカ×エンレイ	平 11	Ⅱc		8.03	10.24	66	6.2	15.6	904	26.5	233
奨	納豆小粒	純系淘汰	昭 51	Ⅲc	6.19	8.08	10.27	71	8.0	16.7	1,882	10.2	267

区分	品種名	花の色	莢の毛の有無	莢の毛の色	つるになり易さ	耐倒伏性	子 実					栽培適地	特記事項
							色	へその色	形状	大小	品質		
奨	里のほほえみ	白	有	白～淡褐	難	強	黄白	黄	扁球	極大	中の中	県内全域の普通畑。転換畑	多収・良質、大粒で蛋白質含量が高い。青立ち・倒伏に強い。難裂莢性。ダイズモザイクウイルス抵抗性。
準	ハタユタカ	紫	有	灰色	難	やや強	黄白	黄	楕円	中の大	中の中	県内全域の普通畑、輪換畑(ダイズシスト発生ほ場)	多収・良質で豆腐加工適性に優れる。ダイズシストセンチュウに抵抗性を有する。立枯性病害にやや弱い。
奨	納豆小粒	紫	有	白～淡褐	易	中	黄白	黄	球	極小	中の中	県北の普通畑、輪換畑	良質で極小粒率が高く、納豆加工適性に優れる。早播きでは蔓化し、倒伏しやすい。

(注)1 数値は下記条件における試験結果による。

(1) 試験年次:平成28年～令和2年

(2) 試験圃場:茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室(龍ヶ崎市大徳町) 輪換畑(中粗粒灰色低地土)

(3) 施肥量(10a当たり) 窒素:3kg、リン酸:12kg、カリ:12kg

(4) 栽植密度:畦幅60cm×株間15cm(11.1本/m²)

(5) 子実重は精子実重を示す

2 品種の生態型分類は次による。

開花までの日数	Ⅱ 短
	Ⅲ 中

結実日数	b 中
	c 長

3 開花期:全株数の40～50%が開花始めに達した日
 成熟期:全株数の80～90%の莢の大部分が変色し、
 粒の大部分が品種固有の色を表し、
 振って音のする日をもって示す。

そば奨励品種特性表

区分	品 種 名	来歴または両親名	奨励品種採用年度	生態系	播種期 (月日)	開花期 (月日)	成熟期 (月日)	主茎長 (cm)	主茎節数 (節)
奨	常陸秋そば	在来種からの選抜	昭 60	中間～ 秋型	8.21	9.14	10.25	93	9.9

区分	品 種 名	分枝数 (本/株)	千粒重 (g)	子実重 (kg/10a)	子 実			食 味	栽 培 適 地	特記事項
					整否	粒色	品質			
奨	常陸秋そば	2.6	35.9	168	整	黒 褐	良	良	県内全域の普通畑 および輪換畑	他家受粉のため自家採種を繰 り返すと品質が低下する。

(注)1 数値は下記条件における試験結果による。

- (1) 試験年次: 昭和60年～平成元年 5ヶ年の平均値
 - (2) 試験圃場: 茨城県農業総合センター農業研究所(水戸市上国井町)畑(表層腐植質黒ボク土)
 - (3) 播種量 (10a当り) 5kg, 畦幅60cm
 - (4) 施肥量 (10a当り) 窒素: 2kg、リン酸: 3k、カリ: 4kg
- 2 開花期: 全株数の約50%が開花始めに達した日
成熟期: 子実の約80%が成熟に達した日

ベニバナインゲン奨励品種特性表

区分	品種名	来歴または両親名	奨励品種採用年度	伸育性	胚軸の色	花色	早晩性	播種期(月日)	開花期(月日)	成熟期(月日)
認	常陸大黒	花豆白在来×在来斑紋種の自然交配(推定)	令 2	無限つる性	赤紫	赤	中	7.1	8.11	11.1

区分	品種名	莢数 (莢/株)	百粒重 (g)	子実重 (kg/a)	種皮				栽培適地	特記事項
					斑紋の種類	地色	斑紋の色	環色		
認	常陸大黒	53	189	36.5	無	黒	無	無	県北中山間地及びその周辺地域	高温下では生理的落花が多く、稔実も劣るため、平坦地での栽培は避ける。 虫媒により容易に交雑するため、「常陸大黒」以外のベニバナインゲン品種が作付されている地域での栽培は避ける。

(注)1 数値は下記条件における試験結果による。

- (1) 試験年次:平成8年～平成10年 3ヶ年の平均値
- (2) 試験圃場:茨城県農業総合センター生物工学研究所(水戸市上国井町)畑(表層腐植質黒ボク土)
- (3) 栽植密度 (1a当り) 200株(畦幅1m×株間0.5m)
- (4) 施肥量 (1a当り) 窒素:1kg, リン酸:4kg, カリ:4kg

2 開花期:全個体の40～50%が開花始に達した日

成熟期:全個体の80～90%において莢の大部分が変色し、子実が品種固有の色を表す日

(参考)落花生品種特性表

旧区分	品種名	来歴または両親名	奨励品種採用年度	草型	播種期(月日)	開花期(月日)	収穫期(月日)	最長分枝長(cm)	分枝数(本/株)	莢実数(莢/株)	莢実重(kg/10a)
奨	サヤカ	アズマユタカ×関東34号	平 3 ~ 平 30	中間型	5.14	6.23	9.16	54.2	37.8	32.3	410
準	千葉半立	八街半立の純系淘汰	昭 36 ~ 平 30	中間型		6.26	9.23	62.2	35.3	28.4	337
準	ナカテユタカ	関東8号×334A	昭 54 ~ 平 30	立性		6.23	9.10	55.3	32.6	34.6	434

旧区分	品種名	むき実歩合(%)	上実百粒重(g)	子実重(kg/10a)	子実				病害			栽培適地	特記事項
					整否	粒色	色沢	品質	黒渋	褐斑	汚斑		
奨	サヤカ	68	93.3	280	整	淡橙褐	良	やや上	無~微	微~少	微	県内全域	収穫遅れにより、品質および食味が大きく低下する。収穫の目安は開花期後85日。
準	千葉半立	66	88.9	221	整	淡橙褐	良	やや上	無~微	微~少	微	県内全域	収量がやや低い。収穫の目安は開花期後90日。
準	ナカテユタカ	70	97.5	303	整	淡橙褐	良	やや上 ~上	無~微	無~中	微	県内全域	収穫遅れにより、品質および食味が大きく低下する。収穫の目安は開花期後80日。

(注)1 数値は下記条件における試験結果による。

- (1)試験年次:平成28年~令和2年(サヤカ:平成27年~令和元年)
- (2)試験圃場:茨城県農業総合センター農業研究所(水戸市上国井町)畑(表層腐植質黒ボク土)
- (3)施肥量:(10a当たり)窒素3kg、リン酸12kg、カリ12kg、消石灰100kg、苦土重焼りん150kg
- (4)栽培型:マルチ栽培、栽植密度:平均畦幅60cm 株間24cm

2 開花期:全株数の40~50%が開花始めに達した日

3 品種における旧区分は平成30年度までの奨励品種の区分を記載

(参考)甘藷品種特性表

用途	旧区分	品種名	来歴または両親名	奨励品種採用年度	萌芽		頂葉の色	葉脈の色	葉型	茎の色	つる重(kg/10a)	上いも重(kg/10a)
					遅速	多少						
青果用	奨	ベニアズマ	関東85号×コガネセンガン	昭60 ~ 平30	速	多	淡緑	淡紫	心臓型	紫褐	4.414	3.782
	準	べにまさり	九州104号×九系87010-21	平15 ~ 平30	速	多	淡緑	緑	心臓型	淡緑	4.432	3.755
	準	べにはるか	九州121号×春こがね	平25 ~ 平30	中	中	淡緑	緑	心臓型	淡緑	5.720	3.108
	-	ふくむらさき	九系255×パープルスイートロード	-	中	中	淡緑	緑	複欠刻 浅裂	紫褐	5.268	2.171
蒸切干し用	奨	タマユタカ	関東33号×関東19号	昭36 ~ 平30	中	中	淡緑	緑	単欠刻	淡緑	4.693	4.020
	奨	べにはるか	九州121号×春こがね	平27 ~ 平30	中	中	淡緑	緑	心臓型	淡緑	4.432	3.755
	準	ヒタチレッド	キャロメックスを母本とする多交配	平5 ~ 平30	中	中	緑	緑	心臓型	淡緑	4.907	4.800

用途	旧区分	品種名	なりづるの強弱	いものつく位置	掘り取りの難易	いもの品質				蒸しいもの肉質	食味	栽培適地	特記事項
						条溝	形状	皮色	肉色				
青果用	奨	ベニアズマ	中	中	易	微	長紡錘	濃赤紫	黄	やや粉	やや上	県内全域	良食味・多収である。早植えの掘取りの目安は100~130日。遅植えでは皮脈の発生が多い。つる割れ病抵抗性は中程度。貯蔵性がやや悪い。
	準	べにまさり	やや強	浅狭	易	無	紡錘	赤紫	淡黄	中	やや上	鹿行地域	A品率が高い。粘質で良食味である。育苗期間中「ベニアズマ」に比べ節間が伸びにくい。帯状粗皮病に弱い。多肥・カリ過剰の圃場では丸いも、地中萌芽が発生しやすい。
	準	べにはるか	中	中	中	微	長紡錘	濃赤紫	黄白	やや粘	やや上	県内全域	A品率が高い。収穫後の早い時期でも、蒸し芋は粘質で甘みが強く、食味評価が高い。蒸切干しにも加工可能。育苗期間中「ベニアズマ」に比べ節間が伸びにくい。糖化が進むと蒸しいもの肉質が粘質になり過ぎる。
	-	ふくむらさき	中	狭	中	微	長紡錘	赤紫	紫	やや粘	中	鹿行地域	肉色が紫で、アントシアニンを多く含有する。肉質が粘質で、糖度が高く食味に優れる。収量が少ないため、5月下旬に挿苗し、10月下旬以降に収穫を行い、在圃日数を160日程度確保する。
蒸切干し用	奨	タマユタカ	強	浅狭	易	微	下膨短紡	黄白 首尾部 淡紅	黄白	やや粘	やや上	県内全域、特にひたちなか市を中心とする蒸切干し生産地	多収で貯蔵性がよい。多肥で蒸切干し「クロタ」が出やすい。干ばつで蒸切干し「シロタ」が出やすい。
	奨	べにはるか	中	中	中	無	長紡錘	濃赤紫	黄白	粘	上	県内全域	蒸切干しは柔らかく仕上がりが、甘みが強く、外観に優れる。形状が長紡錘である事、粘質であることから「タマユタカ」に比べ、作業効率は劣る。育苗期間中「タマユタカ」に比べ節間が伸びにくい。
	準	ヒタチレッド	中	浅狭	易	微	紡錘	濃赤紫	淡橙	やや粘	中	県内全域、特にひたちなか市を中心とする蒸切干し生産地	多収でカロチン含量多い。貯蔵性が「タマユタカ」に比べ劣る。

(注)1 数値は下記条件における試験結果による。

(1)試験年次:平成28年~令和2年

(2)試験圃場:茨城県農業総合センター農業研究所(水戸市上国井町)畑(表層腐植質黒ボク土)

(3)施肥量(10a当たり)窒素2kg リン酸12kg カリ10kg(H28)、窒素3kg リン酸10kg カリ10kg(H29~R2)

(4)栽植密度:畦幅100cm 株間25cm(H28~R1)、株間35cm(R2)(黒マルチ栽培。ただし「タマユタカ」は無マルチ栽培。)

植え付け5月下旬、掘り取り10月中旬

種子更新について

品質の高い農作物を安定的に生産するためには、県の奨励品種を選ぶとともに指定種子生産ほ場産の種子を使用することが大切です。また、実需者の求める出所の明らかな農作物を生産するために、種子は毎年更新しましょう。

「令和3年産種子生産計画」

稲				麦				大豆				
種類	品種名	生産計画		種類	品種名	生産計画		品種名	生産計画			
		面積	数量			面積	数量		面積	数量		
水 稲	一番星	a	kg	小 麦	さとのそら	a	kg	里のほほえみ ハタユタカ 納豆小粒 合 計	a	kg		
	あきたこまち	160	5,500		12,100	254,100	4,570		60,450			
	ふくまるSL	4,620	166,000		1,400	28,000	130		1,200			
	チヨニシキ	1,000	35,000		県外委託	8,000	1,350		12,510			
	コシヒカリ	430	15,000	小 計	13,500	290,100	合 計	6,050	74,160			
	ゆめひたち	30,960	1,083,000	六 条 大 麦	カシマムギ	1,900	31,500	合 計				
	ひたち錦	860	30,000		カシマゴール	4,200	75,000					
	あさひの夢	30	1,000		小 計	6,100	106,500					
	ミルキークイーン	1,800	63,000	二 条 大 麦	ミカモゴールデン	3,300	65,000					
	にじのきらめき	県外委託	30,000		小 計	3,300	65,000					
	マンゲツモチ	520	18,000	裸 麦	キラリモチ	1,500	28,800					
	月の光	1,070	37,300		小 計	1,500	28,800					
	夢あおば	590	22,000		合 計	24,400	490,400					
	小 計	1,110	42,000									
陸 稲	小 計	43,150	1,547,800									
	ひたちはたもち	310	10,900									
	小 計	310	10,900									
合 計												
	合 計	43,460	1,558,700									

本県の稲、麦類(大麦、裸麦及び小麦)及び大豆の作付生産状況

区分	年産	平成 23 年				平成 24 年				平成 25 年				平成 26 年			
		種別	作付面積 (ha)	10a当たり 収量(kg)	収穫量(t)	作況指数	作付面積 (ha)	10a当たり 収量(kg)	収穫量(t)	作況指数	作付面積 (ha)	10a当たり 収量(kg)	収穫量(t)	作況指数	作付面積 (ha)	10a当たり 収量(kg)	収穫量(t)
稲類	水稲	75,500	521	393,400	100	75,800	540	409,300	103	75,900	542	411,400	104	74,700	548	409,400	105
	陸稲	1,550	228	3,530	88	1,390	166	2,310	63	1,190	250	2,980	102	956	267	2,550	109
	計	77,050	-	396,930	-	77,190	-	411,610	-	77,090	-	414,380	-	75,656	-	411,950	-
麦類	小麦	4,690	226	10,600	94	4,710	257	12,100	108	4,740	338	16,000	143	4,700	327	15,400	134
	六条大麦	2,040	184	3,750	82	1,890	152	2,870	70	1,940	280	5,430	139	2,170	201	4,360	94
	二条大麦	1,560	242	3,780	95	1,520	222	3,380	87	1,350	297	4,010	123	1,110	148	1,640	59
	計	8,290	-	18,130	-	8,120	-	18,350	-	8,030	-	25,440	-	7,980	-	21,400	-
大豆	4,380	128	5,610	86	4,080	162	6,610	110	3,990	140	5,590	95	3,920	138	5,410	97	

区分	年産	平成 27 年				平成 28 年				平成 29 年				平成 30 年			
		種別	作付面積 (ha)	10a当たり 収量(kg)	収穫量(t)	作況指数	作付面積 (ha)	10a当たり 収量(kg)	収穫量(t)	作況指数	作付面積 (ha)	10a当たり 収量(kg)	収穫量(t)	作況指数	作付面積 (ha)	10a当たり 収量(kg)	収穫量(t)
稲類	水稲	70,300	505	355,000	96	69,300	521	361,100	99	68,100	525	357,500	99	68,400	524	358,400	99
	陸稲	784	236	1,850	97	652	212	1,380	91	580	244	1,420	109	528	246	1,300	105
	計	71,084	-	356,850	-	69,952	-	362,480	-	68,680	-	358,920	-	68,928	-	359,700	-
麦類	小麦	4,670	329	15,400	129	4,580	304	13,900	111	4,780	321	15,300	111	4,610	293	13,500	95
	六条大麦	2,340	273	6,390	133	2,240	251	5,620	120	2,090	254	5,310	115	1,940	225	4,370	97
	二条大麦	1,080	274	2,960	112	1,070	231	2,470	95	1,110	273	3,030	116	1,240	260	3,220	105
	裸麦	-	-	-	-	10	410	41	209	40	440	176	203	125	252	315	97
計	8,090	-	24,750	-	7,900	-	22,031	-	8,020	-	23,816	-	7,915	-	21,405	-	
大豆	3,760	113	4,250	80	3,730	108	4,030	81	3,640	130	4,730	104	3,470	110	3,820	85	

区分	年産	令和元年(平成31年)				令和2年			
		種別	作付面積 (ha)	10a当たり 収量(kg)	収穫量(t)	作況指数	作付面積 (ha)	10a当たり 収量(kg)	収穫量(t)
稲類	水稲	68,300	504	344,200	96	67,800	531	360,000	101
	陸稲	487	240	1,170	101	447	245	1,100	101
	計	68,787	-	345,370	-	68,247	-	361,100	-
麦類	小麦	4,590	353	16,200	112	4,610	267	12,300	82
	六条大麦	1,830	262	4,800	109	1,530	231	3,530	91
	二条大麦	1,210	264	3,190	105	1,160	238	2,760	92
	裸麦	229	339	776	126	291	273	794	90
計	7,859	-	24,966	-	7,591	-	19,384	-	
大豆	3,450	96	3,310	76	3,350	115	3,850	96	

※水稲以外の作況指数欄については、基本的に農林水産統計における平均収量対比を記載

(農林水産省大臣官房統計部：農林水産統計)

令和3年産 産地品種銘柄一覧表

(令和3年3月31日現在)

種 類		令和3年産 産地品種銘柄			
		必須銘柄		選択銘柄	
水稲	うるちもみ・うるち玄米	あきたこまち		あきだわら	はいごころ
		キヌヒカリ		あさひの夢	ハイブリッドとうごう3号
		コシヒカリ		一番星	はえぬき
		チヨニシキ		いのちの壺	はるみ
		つくばSD1号		笑みの絆	姫ごのみ
		とねのめぐみ		エルジーシー潤	ふくまる
		日本晴		LGCソフト	ほしじるし
		ひとめぼれ		華麗舞	ほむすめ舞
		ミルクークイーン		つくばSD2号	みつひかり
		夢ごこち		とよめき	萌えみのり
		ゆめひたち		和みリゾート	ゆうだい21
				にじのきらめき	
			醸造用玄米	五百万石	山田錦
		ひたち錦	若水		
		美山錦	渡船		
	もちもみ・もち玄米	ヒメノモチ	マンゲツモチ	こがねもち	
麦類	普通小麦	きぬの波	農林61号	ゆめかおり	
		さとのそら		ユメシホウ	
	普通小粒大麦	カシマムギ		カシマゴール	
	普通大粒大麦	ミカモゴールド			
	普通裸麦			キラリモチ	
大豆	普通大豆及び 特定加工用大豆	大粒及び中粒大豆	タチナガハ	ハタユタカ	里のほほえみ
		小粒及び極小粒大豆	納豆小粒		
そば	普通そば	常陸秋そば			

(注) 農産物検査法第11条第1項の規定に基づき定められた農産物規格規程による。
産地品種銘柄が設定された品種・農産物検査の受検により、JAS法に基づく品種名、産地名及び産年の表示等が可能となる。